

## 2006 年度：学会発表リスト

### 日本セラミックス協会年会

- 1) 相澤守・平本篤司・松本守雄・松浦知和、“再生医療を支援するアパタイトファイバースキャフォールドの開発”、日本セラミックス協会 2006 年年会、東京大学（駒場キャンパス）、日本セラミックス協会、2006.3.14-16.
- 2) 木田弘毅・堀口悠紀子・田村貴志・織部一弥・相澤 守、“キレート硬化型アパタイトセメントの骨芽細胞を用いた生体適合性評価”、日本セラミックス協会 2006 年年会、東京大学（駒場キャンパス）、日本セラミックス協会、2006.3.14-16.
- 3) 宮崎玲充・神澤信行・相澤守、“骨芽細胞の接着および形態に及ぼすアパタイトセラミックス結晶面の影響”、日本セラミックス協会 2006 年年会、東京大学（駒場キャンパス）、日本セラミックス協会、2006.3.14-16.

### 無機マテリアル学会

- 4) 田中雄也・森末光・松本守雄・戸山芳昭・相澤 守、“アパタイトファイバーからの二極化した気孔径をもつ多孔質セラミックスの作製とその生物学的評価”、無機マテリアル学会第 112 回学術講演会、上智大学、無機マテリアル学会、2006.6.8-9.

### 日本セラミックス協会秋季シンポジウム

- 5) 相澤守・大野俊樹・鹿又宣弘・矢野杏子・江本精、“血管新生抑制剤を担持させたリン酸カルシウム中空微小球の抗腫瘍効果”、日本セラミックス協会秋季シンポジウム、山梨大学、日本セラミックス協会、2006.9.19-21.
- 6) 井桁直子・相澤守、“アパタイトゲルにより高強度化させたアパタイトファイバースキャフォールドの骨芽細胞による *in vitro* 評価”、日本セラミックス協会秋季シンポジウム、山梨大学、日本セラミックス協会、2006.9.19-21.
- 7) 木田弘毅・堀口悠紀子・織部一弥・森末光・松本守雄・戸山芳昭・相澤守、“キレート硬化型アパタイトセメントのラビットモデルによる *in vivo* 評価”、日本セラミックス協会秋季シンポジウム、山梨大学、日本セラミックス協会、2006.9.19-21.
- 8) 田邊晴久・大淵敦司・中村利廣・相澤守、“生体擬似体液中におけるアパタイトファイバースキャフォールドの溶解-析出挙動”、日本セラミックス協会秋季シンポジウム、山梨大学、日本セラミックス協会、2006.9.19-21.

### 日本分析化学会 X 線分析研究懇談会

- 9) 相澤守、“アパタイトファイバースキャフォールドの創製とその再生医療への応用”、第 42 回 X 線分析討論会、明治大学（生田キャンパス）、日本分析化学会 X 線分析研究懇談会、2006.10.20-21.

### Asian BioCeramics Symposium (ABC2006)

- 10) M. Aizawa, H. Uchida, I. Okada, T. J. Fujimi, N. Kanzawa, M. Matsumoto, H. Morisue and Y. Toyama, "Development of Apatite Fiber Scaffolds Promoting Hard-tissue Regeneration and Their Application to Biomedical Devices", 6<sup>th</sup> Asian BioCeramics Symposium (ABC2006), Bangkok, Thailand, November 7-10, 2006.
- 11) M. Honda, T. J. Fujimi, N. Kanzawa, K. Izawa, T. Tsuchiya, M. Aizawa," Osteogenic Differentiation in a Three-dimensional Apatite-fiber Scaffolds", 6<sup>th</sup> Asian BioCeramics Symposium (ABC2006), Bangkok, Thailand, November 7-10, 2006.
- 12) S. Izumi, M. Honda, N. Kanzawa<sup>1\*</sup>, T. J. Fujimi, H. Uchida, T. Tsuchiya, H. Morisue, M. Matsumoto, M. Aizawa, "Apatite-fiber Scaffold Provides Three-dimensional Culture Environment for Osteoblast-like cells", 6<sup>th</sup> Asian BioCeramics Symposium (ABC2006), Bangkok, Thailand, November 7-10, 2006.
- 13) A. Hiramoto, T. Matsuura and M. Aizawa, "Three-dimensional Cell Culture of Hepatocyte Using Apatite-fiber Scaffold and Application to a Radial-flow Bioreactor", 6<sup>th</sup> Asian BioCeramics Symposium (ABC2006), Bangkok, Thailand, November 7-10, 2006.
- 14) A.Miyazaki, N. Kanzawa and M. Aizawa, "Adhesion, Proliferation and Differentiation of Osteoblasts Cultured on Apatite Ceramics with Preferred Orientation to *a*-plane", 6<sup>th</sup> Asian BioCeramics Symposium (ABC2006), Bangkok, Thailand, November 7-10, 2006.
- 15) H.Tanabe, A.Ohbuchi, T.Nakamura, M.Aizawa, "Release profiles of calcium and phosphate ions from the  $\beta$ -tricalcium phosphate fiber scaffolds in the HEPES buffer solutions", 6<sup>th</sup> Asian BioCeramics Symposium (ABC2006), Bangkok, Thailand, November 7-10, 2006.
- 16) A.Yoshikawa, Y.Horiguchi, K.Oribe, and M.Aizawa, "Mechanical Property of Apatite Cement Hardened by Chelating-effect of Inositol Phosphate", 6<sup>th</sup> Asian BioCeramics Symposium (ABC2006), Bangkok, Thailand, November 7-10, 2006.
- 17) H. Yamamoto and M. Aizawa, "Synthesis of Plate-shaped Apatite with Preferred Orientation to *c*-Plane Using Enzyme Reaction of Urea with Urease" 6<sup>th</sup> Asian BioCeramics Symposium (ABC2006), Bangkok, Thailand, November 7-10, 2006.
- 18) N. Onaya, T. Ohno, Pak-kon. Choi and M. Aizawa, "Effect of ultrasonic vibration frequency on the particle size of hydroxyapatite microspheres synthesized by ultrasonic spray-pyrolysis", 6<sup>th</sup> Asian BioCeramics Symposium (ABC2006), Bangkok, Thailand, November 7-10, 2006.
- 19) Y. Tanaka, H. Morisue, M. Matsumoto, Y. Toyama and M. Aizawa, "Development of Porous Ceramics with Well-controlled Pore Sizes Created From Single-crystal Apatite Fibers and Its Biological Evaluation", 6<sup>th</sup> Asian BioCeramics Symposium (ABC2006), Bangkok, Thailand, November 7-10, 2006.

### 日本バイオマテリアル学会

- 20) 相澤 守・大野俊樹・鹿又宣弘・矢野杏子・江本 精、” 生体吸収性リン酸カルシウム中空微小球の DDS キャリアとしての応用”、第 28 回日本バイオマテリアル学会大会、東京（アルカディア市ヶ谷）、日本バイオマテリアル学会、200611.27-28.
- 21) 宮崎玲充・神澤信行・相澤守、” 骨芽細胞様細胞の接着、増殖および分化に及ぼすアパタイト結晶面の影響 “、第 28 回日本バイオマテリアル学会大会、東京（アルカディア市ヶ谷）、日本バイオマテリアル学会、200611.27-28.
- 22) 井桁直子・相澤 守、” アパタイトゲルによるアパタイトファイバースキャフォールドの高強度化およびその生体適合性 “、第 28 回日本バイオマテリアル学会大会、東京（アルカディア市ヶ谷）、日本バイオマテリアル学会、200611.27-28.
- 23) 山本宏明・瀧 絢子・相澤 守、” 尿素とウレアーゼとの酵素反応により合成した板状アパタイトのキャラクタリゼーション”、第 28 回日本バイオマテリアル学会大会、東京（アルカディア市ヶ谷）、日本バイオマテリアル学会、200611.27-28.
- 24) 瀧絢子・吉村英恭・相澤 守、” 高分解能透過型電子顕微鏡によるカルシウム欠損型単結晶アパタイトファイバーの微細構造観察 “、第 28 回日本バイオマテリアル学会大会、東京（アルカディア市ヶ谷）、日本バイオマテリアル学会、200611.27-28.
- 25) 平本篤司・松浦知和・相澤 守、” アパタイトファイバースキャフォールドとラジアルフロー型バイオリクターによる株化肝細胞の三次元培養とその機能”、第 28 回日本バイオマテリアル学会大会、東京（アルカディア市ヶ谷）、日本バイオマテリアル学会、200611.27-28.

### 生体関連セラミックス討論会

- 26) 木田弘毅・堀口悠紀子・織部一弥・森末光・松本守雄・戸山芳昭・相澤守、第 10 回生体関連セラミックス討論会、東京工業大学（すずかけ台キャンパス）、日本セラミックス協会生体関連材料部会、2006.12.1.
- 27) 田邊晴久・大淵敦司・中村利廣・相澤守、” 生体擬似体液中におけるリン酸三カルシウムファイバースキャフォールドの溶解-析出挙動”、第 10 回生体関連セラミックス討論会、東京工業大学（すずかけ台キャンパス）、日本セラミックス協会生体関連材料部会、2006.12.1.
- 28) 田中雄也・森末光・松本守雄・戸山芳昭・相澤 守、” アパタイトファイバースキャフォールドから作製した多孔質セラミックスの *in vitro* および *in vivo* 評価”、第 10 回生体関連セラミックス討論会、東京工業大学（すずかけ台キャンパス）、日本セラミックス協会生体関連材料部会、2006.12.1.

### 日本セラミックス協会年会

- 29) 瀧 絢子・吉村 英恭・相澤 守, “カルシウム欠損型アパタイトファイバーの微細構造観察”, 日本セラミックス協会 2007 年年会, 東京 (武蔵工業大学)、日本セラミックス協会、2007.3.21-23.
- 30) 張 トウ・山本宏明・相澤 守, “マグネシウム置換アパタイトの合成とそのキャラクターゼーション”, 日本セラミックス協会 2007 年年会, 東京 (武蔵工業大学)、日本セラミックス協会、2007.3.21-23.
- 31) 吉川哲史・堀口悠紀子・織部一弥・相澤 守, “機械粉碎アパタイト粉体によるキレート硬化型セメントの作製”, 日本セラミックス協会 2007 年年会, 東京 (武蔵工業大学)、日本セラミックス協会、2007.3.21-23.
- 32) 本島怜・井桁直子・相澤守, “I 型コラーゲンを利用したアパタイトファイバースキャフォールドの高強度化”, 日本セラミックス協会 2007 年年会, 東京 (武蔵工業大学)、日本セラミックス協会、2007.3.21-23.